

# 港区議員団ニュース

HP

## 東日本大震災をふまえた区の事業に

### 共産党区議団の提案が反映

6月15日から始まった港区議会第2回定例会で、一般会計補正予算が提案され、東日本大震災をふまえた区の事業が明らかになりました。  
共産党区議団が行ってきた議会質問や区長への申し入れなどが反映されたものとなっています。(詳細は区議団にお問い合わせ下さい)

#### ●教育施設等に

##### 折りたたみ式ヘルメット等の配備

災害時における児童の安全を確保するために、公立保育園(暫定・認証も含む)・幼稚園、小・中学校、児童館等一七五施設に、折りたたみ式ヘルメットや防災ずきんが配備されることになりました。



折りたたみ式ヘルメット内蔵型

#### ●区内で放射能・放射線測定が開始されました

私たちの申入れや区民の陳情もあり、4月25日から開始している「水道水」に対する放射能測定に加え、6月9日から、区内の保育園や公園などの「砂場」と学校の屋外プールの水の放射能測定が開始されました。

また、砂場の検体採取と同時に、簡易型測定器を使って、「大気」中の放射線量を測定します。また、芝浦工業大学(田町キャンパス)における定点測定もはじまりました。結果については、区のホームページでご覧になれます。

区民の不安解消のために、引き続き、測定場所や回数を増やすなどの改善を求めていきます。



大気の放射線量測定の様子

#### ●太陽光発電システム機器の設置費助成拡大

夏季における電力供給量の不足への対応及び地球温暖化対策として、太陽光発電システム機器の設置費助成額が増額されます。(補正予算額4,240万円)

- ・助成額単価の引き上げ  
(個人住宅、共同住宅共用部、事業所共通)
- 1KWあたり 10万円↓20万円
- ・助成限度額の引き上げ
- 個人住宅 30万円↓60万円
- 共同住宅共用部 30万円↓200万円
- 事業所 100万円↓200万円